

## インフルエンザ治療薬

インフルエンザは、国内で新型コロナウイルスの流行が始まった2020年2月以降、患者報告数は急速に減少し、2020-2021年シーズンおよび2021-2022シーズンまでインフルエンザの報告はほとんどありませんでした。

一方今シーズンは、過去2年間インフルエンザの流行が少なかったことが影響し、A(H1N1)亜型、A(H3N2)亜型の抗体の保有が低下傾向であること等からインフルエンザの流行が起こりやすい状況にあるそうです。実際、今シーズンのインフルエンザは、過去2シーズンを大きく上回る報告数が継続しています。

### 季節性インフルエンザの患者報告数

※全国約5000か所の定点医療機関においてインフルエンザと診断された患者数  
48週(11/27~12/3)の報告数

2019年	27,664
2020年	49
2021年	25
2022年	636
2023年	132,117

インフルエンザ治療薬には、経口、吸入、注射薬があり、状態に応じて選択が可能です。原則的に症状発症から2日以内に投与を開始します。(以下①~④は当院採用薬)

### ◆ウイルスの感染細胞からの遊離を抑制 (ノイラミニダーゼ阻害薬)

#### ①オセルタミビルカプセル75mg「サワイ」

(先発名:タミフルカプセル)

経口薬

成人 1回75mg、1日2回、5日間

1クール薬価 1144.0円

#### ②イナビル吸入粉末剤20mg

吸入薬

成人 1回2容器(計4か所) 単回

1クール薬価 4359.0円

#### ③リレンザ吸入

吸入薬

成人 1回2ブリストア、1日2回、5日間

1クール薬価 2554.0円

#### ④ラピアクタ点滴静注バック300mg

注射薬

重症例、経口、吸入不可能の場合に限る

成人 1日1回300mg点滴静注 単回

1クール薬価 6331.0円

### ◆ウイルスmRNAの合成を阻害

(Cap依存性エンドヌクレアーゼ阻害薬)

#### ゾフルーザ錠20mg

経口薬

成人 体重80Kg未満:1回2錠 単回

体重80Kg以上:1回4錠 単回

1クール薬価

体重80Kg未満:4877.6円

体重80Kg以上:9755.2円

### 治療薬を使った予防投与について

原則として、インフルエンザウイルス感染症を発症している患者の同居家族又は同居生活者である以下の者に投与が可能です。

- ・高齢者(65歳以上)
- ・慢性呼吸器疾患又は慢性心疾患患者
- ・代謝性疾患患者(糖尿病等)
- ・腎機能障害患者

予防投与として使用できる薬剤は、オセルタミビルカプセル、イナビル吸入粉末剤、リレンザ吸入、ゾフルーザ錠です。予防投与の場合は、服用方法が異なる場合があります。保険適応とならないため、全額自費になります。

\*インフルエンザワクチンは感染予防と重症化を軽減します。当院ではワクチンの在庫に余裕があります。未接種の方は、お電話または、外来受診時スタッフにご相談ください。